

ひとりの不安はみんなの不安、だからみんなで

2学年主任 梅内 智彰

2月28日に「3月26日まで臨時休業となります」と伝達された時、どのような気持ちでしたか。なかには正直なところ、うれしいと感じた人も少なくなかったのではないのでしょうか。しかし4月、進級・入学を迎える時期になってこの臨時休業が続いていると誰が想像していたか。今なお続く緊急事態宣言を受けた臨時休業で、様々な不安を感じていることと思います。

今までも日本では様々な困難に直面してきました。その時の日本の姿は世界から称賛の声を受けています。「日本の精神は」と讃えられましたが、どのような精神なのか。思いやる精神、協力できる精神、そして我慢できる精神。今回も目に見えない大変危険なウイルスが相手です。この精神を忘れず、この困難を乗り越えたいと考えています。

生徒のみなさんは、この困難の中で不安が募っていることと思います。学習、部活動、新しいクラス、新しい先生、顧問など数えきれません。今では外出すること自体を不安に感じる人も多くいます。それらの不安は決して「自分だけ」ではありません。自分自身が不安に思うことは、きっとみんなも同じように感じています。だからこそ、「みんなで」共有しよう、「みんなで」解決していこう、「みんなで」また生活を創っていこう。その準備が里中学校では着々と進められています。お互いにできることを探して、意味のある日々にしていきましょう。

今感じることを、それは当たり前前日常への感謝です。みんなが笑顔で里中学校に登校できること、心から楽しみに待っています。